

いつか花咲く日のために

平成24年6月14日
広島市立中島小学校
校長だより 第3号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え
あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たたいと、
この題をつけました。

ボタン・名札・シャツ！ そして、心！



今年の2月に就学前の園児たちが、1年生との交流会をもつために、本校にきました。1年生の姿が見えると、先生が園児たちに「身なり」と、声をかけられ、その合図で整列していた園児たちが、襟・胸元・腰まわりのシャツを整えるのです。それはまるで自分たちの先輩に敬意を表すかのようで、幼子たちから、大切なことを気付かされた一瞬でした。

さて、本校には、基準服があります。他校からの転入生もいますので、色やおおよその形からはずれていなければよいことにしています。しかし、その着方には、見直すべき点が多々あります。身なりを整えることは、姿勢につながります。体の姿勢と心の姿勢、言い換えると心構えは深く関わっています。

幼子たちが物言わず態度で示した「身なり」という合図への反応は、大きな意味をもっていました。

良いことは、即、実行。

まず、学校朝会開始前に、「ボタンをかけましょう・名札を付けましょう・シャツをいれましょう。そして、心の準備」と声かけ。次に、毎朝、正門前で「ボタン、オッケー・名札、オッケー・シャツ、オッケー」とオッケーサインを出すと、みるみる内に子どもたちの身なりが変わってきました。

もう一つ、本校の子どもたちの良い所を再確認することができました。それは、素直な返事のできる子ども、相手の声かけを真面目に聞き入れることのできる子どもが多いということです。「名札を付けて来ようね」と言うと、「はい」。翌日には、「今日は忘れんかったよ」と報告に来る子どももいます。

遊んでいれば、シャツは出るでしょうし、ボタンもはずしたいでしょう。でも、授業に入る前や、大事な話をする時など、節目節目には、身なりを整え、心の準備をしたいものです。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

まずは、新級した4月の作品から。

五年生	これから一年	がんばるぞ	赤畑	利奈
べんきょうを	しっかりおぼえ	がんばるぞ	下村	俊介
三年は	理科社会を	がんばるぞ	岡本	耀士
三年生	理科と社会を	がんばるぞ	吉岡	史菜
三年生	理科や社会	たのしみだ	宗藤	和希
三年は	理科や社会を	ならうんだ	畑谷	健太
三年生	リコーダーを	おぼえるぞ	岩田	峻平
三年生	リコーダーを	ならうんだ	三浦	克仁
リコーダー	きれいにふいて	みたいなあ	松本健太郎	
リコーダー	ドレミファふいて	たのしいな	高内	悟
なかよくね	ともだちいっぱい	たのしいね	久保田美優	
音楽は	音楽室で	ならうんだ	片山悠貴徳	

いっしょに食べた給食時間。この間のことのようにですね。

スウェーデン	えいごがうまい	おもしろい	佐々木陽菜太	
スウェーデン	なんどでも	ききたいな	中原	安捺
スウェーデン	おはしがないの	さびしいな	中西	礼実
スウェーデン	とってもいいくに	よかったね	平岡	昂
スウェーデン	はしがじょうずだ	スウェーデン	大津	陽生
スウェーデン	いつもげんきで	はしゃぎそう	稲田	駿登
スウェーデン	らーめんずるずる	おいしいな	宇土	航輝
スウェーデン	よくぞひろしま	きてくれた	福岡	拓巳
ステファンさん	はしのもちかた	じょうずだね	小林	和奏
ステファンさん	よくみそしるを	はやくたべた	仲山	虎徹
ステファンさん	よくぞひるまえ	きましたね	草野	太智
ステファンさん	しせいがよかった	おもしろい	綿崎	光月
ステファンさん	はしのもちかた	おもしろい	稲葉	海愛

楽しみにしていた野外活動。

もうすぐで	野外活動	いくんだよ	山田	光葵
六月に	野外活動	楽しみだ	中岡	知里

野外活動出発の時に浮かんだ五七五。

子らはこぶ	貸し切りバスに	最敬礼	久松ひとみ	
-------	---------	-----	-------	--

野外活動団長の教頭先生の一句。

虫・蛙	鳥に犬なく	テント泊	沖重	和彦
-----	-------	------	----	----

「孤食」という言葉を耳にして久しい。できればこんな団欒に。

お互いの	よいとこ話す	夕ごはん	詠み人知らず	
------	--------	------	--------	--